

防災は、地域の見直し! 地域づくりから!
私たちが直面した課題と問いを生かしてください!

明日への伝言

私たちの被災・防災・まちづくり



東日本大震災から被災地域が学んだこと—。
それを生かすためには、多くの壁、試練があった。
地域内の考えの違い。国政や行政と被災者との壁…。
それらを乗り越えて、どう防災対策、区画整備事業、
復興事業を進めたか。
被災地は、私たちに問いかけながら、
地域再生の道を歩み続けている。



上映時間 18分 [C#7499]
DVD 本体価格 66,000円(税抜)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

明日への伝言

私たちの被災・防災・まちづくり

企 画 意 図

東日本大震災から4年が経過する中、防災を基本にした、区画整備事業・まちづくり事業が被災地で進んでいます。震災はどのように起き、生死を分けたものは何なのか。災害に強いまちづくりには何が必要か。多くの議論から選択されていった道筋…。しかし、そこには地域が抱える課題、問題がありました。福島県浜通りでの4年に及ぶ取材映像と、復興が進む現在の姿を織り交ぜて、地域に生きる私たちへ問いを投げかけています。

内 容

1 被災

地震…そして津波による災害。しかし、被害に遭った場所、遭わなかった場所があります。生死を分けたものは何だったのでしょうか。地形、津波の方向…。そして、被災各地でいわれている、いのちを救った神社のある高台への避難。警報への慣れが生んだ悲劇。震災から2ヶ月の現地の声です。

地域が被災したとき、どのような被害が起きたのか。そして、震災から100日を経て、混乱から復興へと歩み始めて直面する様々な課題。被災は、そのあと、人々の離散を生む現実。地域を失わないためには、復旧・復興へ向けたスピードが必要です。



2 防災・まちづくり

被災の度合いやそれまでの生活の違い…。防災を基本とした地域再生は、多くの議論を生みます。その中で、地域をどうまとめ、避難、離散している人々と地域のつながりをつないでいったのか。いわき市豊間地区の区画整備事業と防災まちづくり事業を通して、地域回復のヒントと課題を学びます。

国政や行政からの防災区画整備事業の提案には、多様な意見が生まれました。被災者だからこそわかる現実的な対応策。身近な場所にある高台を有効活用できないか。防波堤は高くするだけでいいのか。防災のヒントを学びます。

災害復興住宅が整い、区画整備事業が進んでいます。しかし、町の整備はできても、漁業、農業の一次産業で生きてきた町は、若い世代が離れ、高齢者だけの町になっています。地域の回復に必要なもの、それは同時に防災対策にも必要なものではないでしょうか。



監督・脚本 秀嶋賢人

制作協力 特定非営利活動法人 Social Net Project MOVE
(<http://www.movejapan.org/about.html>)

企画・制作 (有)フォア・ザ・ワン・プロジェクト (<http://www.hideshima.co.jp>)

2014年作品